

令和2年1月17日 独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

### 企画展「物理はふしぎで美しい! 磁石と水からひろがる相転移の世界」 開催のお知らせ

国立科学博物館(館長:林 良博)は、2020(令和2)年1月28日(火)から2020(令和2)年2月9日(日)までの期間、下記のとおり、<u>企画展「物理はふしぎで美しい! 磁石と水か</u>らひろがる相転移の世界」を開催いたします。

氷と水と水蒸気。同じ物質でも、温度や圧力などの条件が変わると、見た目や性質がはっきり変わります。これを「相転移」といいます。自然界では、物質に限らずさまざまな相転移現象が見られ、今も多くの研究者たちが研究しています。相転移は、物理学の中でも統計物理学とよばれる分野の中心的問題です。

本展では、科学技術史上重要な資料や最近の実験装置などの展示を通じて、ふしぎで美しい相転移の世界を紹介し、子どもから大人まで幅広い世代のお客様に物理の面白さ、奥深さに触れていただく機会を提供いたします。

記

【会 場】国立科学博物館地球館1階オープンスペース(東京都台東区上野公園7-20)

【開催期間】2020(令和2)年1月28日(火)~2020(令和2)年2月9日(日)

【入館料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

(一般・大学生: 630円(団体 510円 ※団体は 20 名以上)、高校生以下および 65 歳以上無料)

【休館日】2月3日(月)

【主 催】国立科学博物館、東京大学

【展示概要】別添チラシ参照

【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当:松澤

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20 TEL: 03-5814-9887、FAX: 03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp

### 展示監修者



### 国立科学博物館 理工学研究部 科学技術史グループ研究員 有賀 暢迪 (ありが のぶみち)

専門は科学史。

特に、物理学・数理科学の歴史と近現代日本の科学技術 史という2つの領域で研究を行っています。また、研究資 料の保全にも大いに関心があります。日本物理学会物理学 史資料委員会委員。



## 東京大学国際高等研究所東京カレッジ副カレッジ長佐野 雅己 (さの まさき)

専門は統計物理・生命物理。

複雑な自然現象や生命の理解を目指し、ソフトマターや 流体における非平衡現象や相転移現象、分子モーターや細 胞などの集団運動の研究に取り組んでいます。東京大学名 誉教授、上海交通大学讲座教授。



# 相転移 ってなんだ?

氷と水と水蒸気。同じ物質 でも、温度や圧力などの条件 が変わると、見た目や性質が はっきり変わります。これを 「相転移」といいます。

実は、自然界では、物質に限ら ずさまざまな相転移現象が 見られ、今も多くの物理学者 たちが研究しているのです。本 展では、ふしぎで美しい相転移 の世界に、みなさまをご案内 します。





液晶の相転移 (どちらも液体だが見た目が変わる)





ネオジム磁石の相転移 (磁石の性質が変わる)



## 磁石の謎にいどむ



-ル・キュリーの手紙 (1904年) 所蔵:国立科学博物館



磁石の性質を説明する戦前の教材(分子磁石模型) 所蔵:国立科学博物館

#### ここに磁石のひみつが!?



磁石の性質のコンピュ (左:低温、中:中温、右:高温) (イジングモデル)



-ションの映画 (「分子運動」、岩波映画製作所、1968年) イジングモデルの相転移をアニメーションで示した 先駆的な映像を紹介します。

こんなきれいな実験装置、

### 「乱流屛風」の美



相転移





「乱流屏風」(水の流れの相転移の実験装置) 所蔵:東京大学

交通ガイド ※当館には駐車場および駐輪場はございません。

OJR

「上野駅」公園口から徒歩5分

○東京メトロ銀座線・日比谷線 「上野駅」から徒歩10分

○京成電鉄

〒110-8718 東京都台東区 上野公園 7-20 TEL 03-5777-8600(ハローダイヤル) FAX 03-5814-9898



「京成上野駅」から徒歩 10分

